

iCD2017 ポケットハンドブック

iCD 超人材育成
iCDオフィシャルサイト

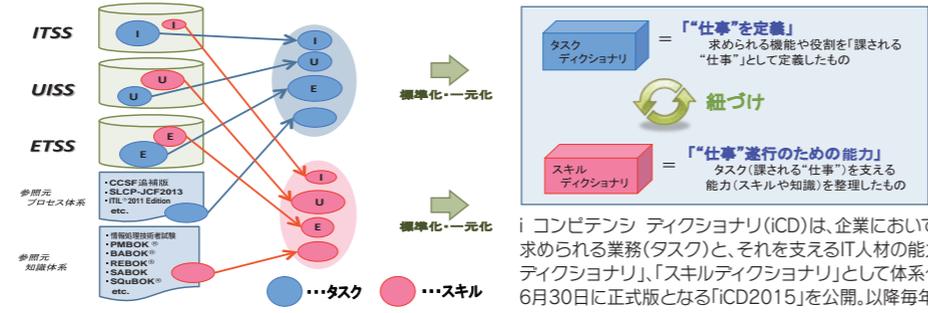
iCD IPA



本ハンドブックは i コンピテンシ ディクショナリの内容理解を目的に、概要を整理して掲載しています。詳細については関連するホームページ等を参照してください。

IPA 独立行政法人情報処理推進機構
IT人材育成本部 HRD イニシアティブセンター
<https://icd.ipa.go.jp/icd/>

1 i コンピテンシ ディクショナリ



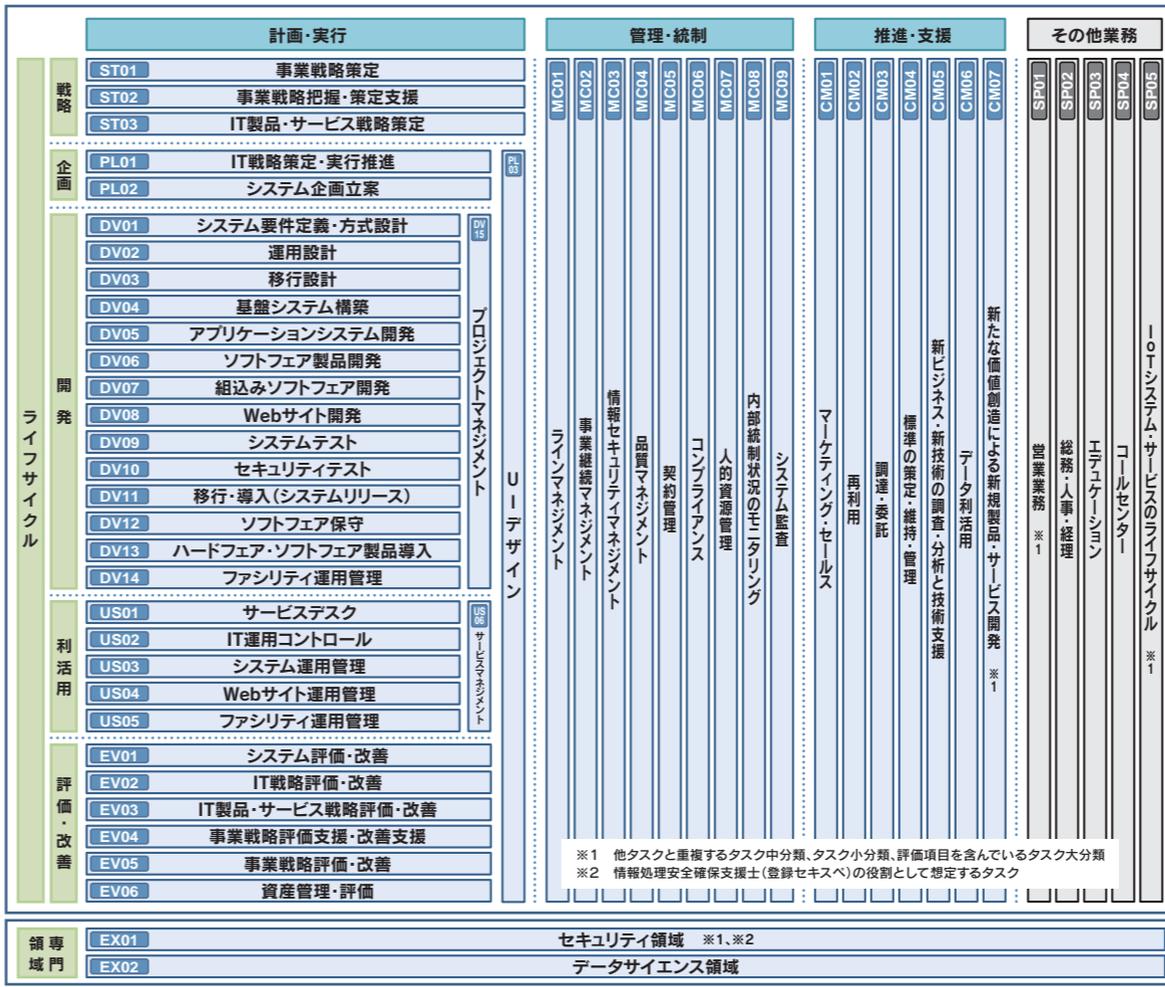
2-3 タスクプロフィール

ビジネスタイプ別	開発対象別	開発手法別	新ビジネス別
クラウド データ活用 情報セキュリティ IoT	クラウド データ活用 情報セキュリティ IoT	クラウド データ活用 情報セキュリティ IoT	クラウド データ活用 情報セキュリティ IoT
戦略的職務	企画・開発・運用職務	中小規模ビジネス推進	特定職務
専門領域	専門領域	専門領域	専門領域
(ITSS+)セキュリティ領域	(ITSS+)データサイエンス領域		

■用途 ビジネスタイプ別 組織の立場(ユーザ、ベンダ)や業態によって必要なタスクを識別するもの。
 ■用途 開発対象別 アプリケーション、ソフトウェア製品等、開発、構築、保守、運用の対象物の種類によって必要となるタスクを識別するもの。
 ■用途 開発手法別 ウォーターフォール、アジャイル等の開発・構築の手法や手段の種類によって必要となるタスクを識別するもの。
 ■用途 新ビジネス別 新しいビジネスや業務を担う人材に必要なタスクを識別するもの。
 ■用途 役割別 自組織の役割定義(タスクの分担)を定める際に参考となる、役割毎のタスクセット(タスクの集合体)。
 ■用途 専門領域 専門的な業務の役割の観点により、分割した14の専門領域。

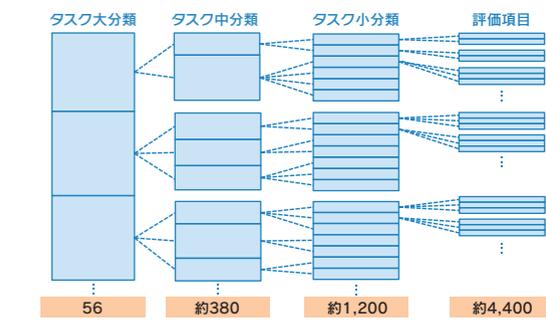
2-1 タスク構成図

タスク構成図は、ビジネスのライフサイクル(戦略、企画、開発、利活用、評価・改善)と、「計画・実行」、「管理・統制」、「推進・支援」「その他業務」の4つのタスク群と専門領域からなるタスクで構成される。タスク大分類単位でタスクディクショナリの全体像を俯瞰することができる。自タスクの策定に役立てることができる。



2-2 タスクディクショナリの構造

タスクディクショナリは「課される「仕事」」であるタスクを、組織、個人に求められる機能や役割を4階層のモデルで整理、体系化したものである。



- 特色**
- ITビジネスにかかわる主要プロセス体系(右欄:参照元)との参照性を高め、MECEに整理(個人がタスク遂行実績を評価する項目(評価項目:約4,400項目)を付加)
 - 二ノースに対応したタスクを強化(協力:CSAJ,FISA,KSK)
 - CCSF(第一版・追補版)
-SLCP-JCF 2013
-ESPR Ver.2.0
-ITIL® 2011 Edition ほか

2-4 タスク評価の診断基準例

タスクの評価の診断基準例

診断レベル	診断基準
L4	他者を指導できる、またはその経験あり
L3	独力で実施できる、またはその経験あり
L2	サポートがあれば実施できる、またはその経験あり
L1	トレーニングを受けた程度の知識あり
L0	知識、経験無し

